

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330522129	ボランティア活動(介護等体験実習)	加藤 彰浩			1	選択	2後期

科目の概要

本科目は四大精神の実践を通し (DP1)、社会的に自立して生きていく上で必要な保育士・幼稚園教諭に関する専門的な知識・技能を身に付け (DP3)、建学の精神をはじめ、社会人基礎力やpisa型学力を習得するとともに (DP4)、地域および国際社会に貢献する社会人としての素養を身につける (DP5)。
 本科目では小学校教諭に必要な専門的知識・技能を育成するために、学外実習(2年次：特別支援学校2日間、3年次：社会福祉施設5日間)とその事前および事後の指導を行う。
 「個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深める」ために、対人援助を体験する中でさまざまな人々と交流し、多様な価値観や生活のありように触れることを通して、自己を見つめると共に、教職に就く者として人間に対する理解を深め、視野を広げることを目的とする。

学修内容	到達目標
① 介護等体験実習の意義と目的を理解する。 ② 特別支援学校及び社会福祉施設の概要と基本理念について理解する。 ③ 対人援助の基礎的な方法、コミュニケーションの方法、マナーについて学ぶ。 ④ 相手への敬意をもって積極的に交流する (学外実習)。 ⑤ 活動の振り返りと発表を行う。	① 介護等体験実習の意義と目的を説明することができる。 ② 特別支援学校及び社会福祉施設の概要と基本理念について説明することができる。 ③ 対人援助の方法、コミュニケーション、マナーについての学びを活かして、人と関わることができる (学外実習)。 ④ 相手への敬意をもって積極的に交流することができる (学外実習)。 ⑤ 活動の振り返りや発表を通して、気づきや自己課題を明確にすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	実習現場では自分がやるべきことは何かを考え、自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難な状況でも失敗を恐れず、状況判断しながら人と関わることができる。
考え抜く力	課題発見力	さまざまな情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	体験したことの事実と考察を的確にまとめ、わかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	他の人の話や意見を素直に聞いたり、共感しながら思いを受けて止めたりすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール (学修態度、課題の期日を守った提出等) の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：現代教師養成研究会編「教師をめざす人の介護等体験ハンドブック」大修館書店
 参考文献：(2年次) 全国特別支援学校長会編著「特別支援学校における介護等体験ガイドブックーフィリア」ジアース教育新社
 参考文献：(3年次) 全国社会福祉協議会編「よくわかる社会福祉施設ー教員免許志願者のためのガイドブック」

他科目との関連、資格との関連

本科目は、専門科目の実習領域であり、獲得した知識・技能を活用する。その後の「教育実習指導 (小)」「教育実習 (小)」の基礎となる科目である。
 資格との連携：小学校教員免許

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・実習は生活の場に出向いて行う。当事者である対象の方々や教職員の方へ敬意とマナーをもって接する。 ・実習に向けて、持ち物やレクリエーションの準備を入念に行う。 ・丁寧に人と関わる中で生じる気づきに真摯に向き合い、自分自身の視野を広げるきっかけとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として相応しい身なりで臨むこと。 ・レポートや実習日誌は丁寧に書き、期日を守る。 ・実習先でのルールを遵守する。 ・科目の性格上、実習事前および事後指導を含め全ての授業に必ず出席すること。なお、事前指導を無断で欠席、遅刻・早退した場合は、実習への参加を取りやめとする。また、事後指導を無断で欠席、遅刻・早退した場合は単位を認定できないこともある。 ・実習中および実習への行き帰り等において、実習生・社会人として不適切な態度や行動が見られた場合、直ちに実習を中止させる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		70	①	✓	2年次（2日間）：特別支援学校、3年次（5日間）：社会福祉施設をそれぞれ下記配点で評価する。 ・事前・事後指導において課題レポートを作成する。その際、以下の観点で評価する。（15点） ①実習の目的と意義の説明 ②実習施設の概要と基本理念の説明 ③実習の振り返り（事前の学習を活かした人との関わりと自己の学び） ・実習日誌は、実習中のレポートとして評価する。（20点） ○提出期日が守れなかった場合は大きく減点する。 【知識の獲得】 介護等体験実習の意義や目的の理解および援助方法：30% 【知識の活用】 介護等の知識や技術を生かしての援助の実施：50% 【知識の解決】 介護等体験実習の意義と目的を理解した上で教育へ生かす：20%
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①		2年次（2日間）：特別支援学校、3年次（5日間）：社会福祉施設をそれぞれ下記配点で評価する。 ・振り返りのレポートを基に発表資料を作成し、わかりやすく発表できる。（10点） ○提出期日が守れなかった場合は大きく減点する。 【知識の獲得】 介護等体験実習の意義や目的の理解および援助方法：0% 【知識の活用】 介護等の知識や技術を生かしての援助の実施：50% 【知識の解決】 介護等体験実習の意義と目的を理解した上で教育へ生かす：50%		
			②				
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）実習現場では自分がやるべきことは何かを考え、自発的に取り組むことができる。 （働きかけ力）初めて出会う人に対して、より良いコミュニケーションを模索し、話題を探して話かけたり、質問をしたりして交流することができる。 （実行力）困難な状況でも失敗を恐れず、状況判断しながら人と関わることができる。 （課題発見力）さまざまな情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）体験したことの事実と考察を的確にまとめ、わかりやすく伝えることができる。 （傾聴力）他の人の話や意見を素直に聞いたり、共感しながら思いを受けて止めたりすることができる。 （規律性）授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護等体験実習の目的及び実習先の概要と基本概念を的確に説明することができる。なおかつ、自分自身の実習の目的を明確に述べることができる。 主体的な態度による積極的な活動参加、対人援助への関心の高まり、好感度の高いマナーの習得、より良いコミュニケーションの実施において、すべてがじゅうぶんに達成されている。 活動を振り返る中で、自分の学びや気づきに真摯に向き合っており、自分自身の視野をじゅうぶんに広げ、自己課題を明確にもつとともに、多様性への理解をじゅうぶんに深めることができる。 <p>A(優)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護等体験実習の目的及び実習先の概要と基本概念を的確に説明することができる。 主体的な態度による積極的な活動参加、対人援助への関心の高まり、好感度の高いマナーの習得、より良いコミュニケーションの実施において、すべてが達成されている。 活動を振り返る中で、自分の学びや気づきに真摯に向き合っており、自分自身の視野を広げ、自己課題をもつとともに、多様性への理解を深めることができる。 	<p>B(良)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護等体験実習の目的及び実習先の概要と基本概念を説明することができる。 積極的な活動参加、対人援助への関心をもつこと、マナーの習得、コミュニケーションの実施において、おおむね達成されている。 活動を振り返る中で、自分の学びや気づきに引き合わせて自分自身の視野を広げること、あるいは、自己課題をもつことができ、多様性への関心をもつことができる。 <p>C(可)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護等体験実習の目的、実習先の概要、基本概念の要点のみを説明することができる。 積極的な活動参加、対人援助への関心をもつこと、マナーの習得、コミュニケーションの実施において、3つがおおむね達成されている。 活動を振り返る中で、自分自身の視野を広げること、あるいは、自己課題をもつことができ、多様性への関心をもつことができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-2	2年次事前指導 ①介護等体験実習の意義と目的について理解する。 ②特別支援学校における実習の意義と目的、及び実習先の概要と基本理念について理解する。 ③対人援助の基礎的な方法、コミュニケーションの方法、マナーをロールプレイ等により習得する。 ・日程、実習先、注意事項、日誌の記録方法、礼状等を確認する。	講義・ロールプレイ・ディスカッション・Google classroom	特別支援学校における介護等体験実習の目的、実習先の概要、基本理念の要点のみを説明することができる。	(予習) ①教科書の目次を読み、概要をつかんでおく。 ②実習先の概要についてまとめる。 ③障害の種類、マナーについて配布資料を読む。 (復習) ①レポート作成：介護等体験実習の意義と目的についてまとめる。②レポート作成：特別支援学校における実習の意義と目的、及び実習先の概要と基本理念についてまとめる。 ③日誌の見本の書写：観点をもって記録する方法に慣れる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4-6	2年次介護等体験実習 特別支援学校において介護等体験実習を行う。	学外実習	・積極的な活動参加、対人援助への関心をもつこと、マナーの習得、コミュニケーションの実施において、2つが達成されている。 ・活動を振り返る中で、自身の視野を広げること、あつことができ、多様性への関心をもつことができる。	(予習) リクレーシヨンの準備をし、事前の学習を振り返る。 (復習) 振り返りの観点を基に実習日誌に記録する。礼状を書き郵送する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
7	2年次事後指導 ①実習を振り返り、レポートとグループワークを通して、気づきや自己課題を明確にし、発表資料を作成する。 ②発表を通して、気づきや自己課題を明確にすることができる。	講義・レポート作成・ディスカッション・発表	・積極的な活動参加、対人援助への関心をもつこと、マナーの習得、コミュニケーションの実施において、2つが達成されている。 ・活動を振り返る中で、自身自身は、自己課題をもつことができ、多様性への関心をもつことができる。	(予習) ①実習日誌を読み返す。 ②レポートを基に発表資料を作成し、発表の練習をする。 (復習) ①レポートを基に発表資料を作成する。 ②他者の発表から新たな気づきをまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8-9	3年次事前指導 社会福祉施設における実習の意義と目的、及び実習先の概要と基本理念について理解する。 ・日程、実習先、注意事項等を確認する。	講義・Google classroom	福祉施設における介護等体験実習の目的、実習先の概要、基本理念の要点のみを説明することができる。	(予習) 教科書第3章を読み、概要をつかんでおく。 (復習) レポート課題：社会福祉施設における実習の意義と目的、及び実習先の概要と基本理念についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10-14	3年次介護等体験実習 社会福祉施設において介護等体験実習を行う。	学外実習	・積極的な活動参加、対人援助への関心をもつこと、マナーの習得、コミュニケーションの実施において、2つが達成されている。 ・活動を振り返る中で、自身自身は、自己課題をもつことができ、多様性への関心をもつことができる。	(予習) リクレーシヨンの準備をし、事前の学習を振り返る。 (復習) 振り返りの観点を基に実習日誌に記録する。礼状を書き郵送する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	3年次事後指導 ①実習を振り返り、レポートとグループワークを通して、気づきや自己課題を明確にし、発表資料を作成する。 ②発表を通して、気づきや自己課題を明確にすることができる。	講義・レポート作成・ディスカッション・発表・ICT	・積極的な活動参加、対人援助への関心をもつこと、マナーの習得、コミュニケーションの実施において、2つが達成されている。 ・活動を振り返る中で、自身自身は、自己課題をもつことができ、多様性への関心をもつことができる。	(予習) ①実習日誌を読み返す。 ②レポートを基に発表資料を作成し、発表の練習をする。 (復習) ①レポートを基に発表資料を作成する。 ②他者の発表から新たな気づきをまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力